

# 横浜都市農業推進プラン(2019-2023)(素案)について

## 1 改定の背景・視点

- ①平成26年度に策定した現計画は、おおむね10年後の横浜の農業を見通して策定しており、基本理念を継続し、施策の体系を継承  
**基本理念 「活力ある都市農業を未来へ」**
- ②「これまでの取組の成果と課題」、都市農業振興基本法の制定や生産緑地法の改正など「横浜の農業を取り巻く環境の変化」、生産基盤の老朽化など「横浜の農業が抱える課題・市民ニーズ」などを踏まえ、各施策・事業に新たな取組内容を追加
- ③都市農業の活性化に向け、先進技術導入や6次産業化等による「横浜農場の展開」
- ④グリーンインフラとして都市農地のもつ多面的機能の発揮

## 2 「横浜都市農業推進プラン(2019-2023)」の主な施策内容

( )内の数字は、5か年目標

### 取組の柱1 持続できる都市農業を推進する

将来にわたり持続可能な都市農業を目指し、農業経営の安定化・効率化に向けた農業の振興や、横浜の農業を支える多様な担い手への支援、農業生産の基盤となる農地の利用促進を図ります。

#### 施策1 農業経営の安定化・効率化に向けた農業振興

##### 事業① 市内産農畜産物の生産振興

- 付加価値の高い農畜産物の生産振興(生産設備導入支援 25件)
- 先進的な栽培技術の設備導入支援(20件)
- 周辺環境に配慮した設備導入支援(25件)
- 畜産の振興(推進)



先進技術を活用した育苗設備

##### 事業② 地域特性に応じた都市農業の拠点づくり支援

- 農業専用地区の特性に応じた農業振興策の策定(2地区)
- [新]**上瀬谷通信施設跡地の農業振興策の策定(策定)



上瀬谷農業専用地区現況

##### 事業③ 生産基盤の整備と支援

- 農業生産基盤整備改修等への支援(のべ40地区)
- 土地改良団体等への運営指導(推進)

#### 施策2 横浜の農業を支える多様な担い手に対する支援

##### 事業④ 農業の担い手の育成・支援

- 担い手の支援(50件)
- 農業技術の向上支援(3,500回)
- [拡]**教育・福祉団体を含む法人・個人の参入(50件)



生産基盤が整備された農地

##### 事業⑤ 農業経営の安定対策

- 農業金融制度の活用(150件)
- 経営安定対策制度への支援(推進)

#### 施策3 農業生産の基盤となる農地の利用促進

##### 事業⑥ 農地の貸し借りの促進

- 農地の貸し借りを**[新]**生産緑地地区にも拡大(貸借面積130ha)
- 遊休農地の解消に向けた耕作状況調査(5,000ha)

##### 事業⑦ まとまりのある農地等の保全

- 市街化調整区域内農地の保全(農振農用地管理、農地転用許可制度の運用)
- 市街化区域内農地の保全(**[新]**特定生産緑地地区の指定推進)
- 防災協力農地の登録(推進)



生産緑地地区

### 取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

#### 施策1 農に親しむ取組の推進

##### 事業① 良好な農景観の保全

- 水田の保全(125ha)、水源・水路の確保(10か所)
- 特定農業用施設保全契約の締結(制度運用)
- 農景観を良好に維持する団体の活動支援(730ha)
- 農地縁辺部への植栽(55件)、土砂流出防止対策(15件)
- 牧草等による環境対策(20ha)、たい肥化設備等の支援(25件)
- 多様な主体による農地の利用調整(遊休農地の復元1.5ha)



保全された水田

##### 事業② 農とふれあう場づくり

- 市民ニーズに合わせた収穫体験農園の開設(7.5ha)
- 市民ニーズに合わせた市民農園の開設(10ha)
- 恵みの里等での農体験教室等の実施(450回)
- 市民農業大学講座(100回)、農体験講座の開催(30回)



市民農園

#### 施策2 地産地消の推進 ～農のプラットフォーム～

##### 事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

- 地産地消にふれる機会の拡大(直売所等の支援285件)
- 緑化用苗木の配布(125,000本)
- 情報発信・PR活動(情報誌などの発行30回)

##### 事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

- 地産地消を広げる人材の育成(活動支援等150件)
- 地産地消ネットワーク交流会の開催(5回)
- 企業等との連携(50件)、ビジネス創出支援(12件)
- 学校給食での市内産農産物の一斉供給、料理コンクールの開催(5回)



みなとみらい農家朝市

「市民が身近に農を感じる場をつくる」取組は、「これからの緑の取組」として実施します。

## 3 今後のスケジュール

平成30年4～5月 市民意見募集

平成30年9月頃 「横浜都市農業推進プラン(2019-2023)」(原案)策定